

第6回 蒸気噴出対策連絡会議 ご説明資料

2023年9月5日
三井石油開発株式会社

1. 噴出抑制策の進捗
 - 噴出抑制作業経緯
 - 井戸の埋め戻し作業
 - 解体・搬出作業スケジュール
2. 専門家による環境影響評価会の組成
3. 前回連絡会議で頂戴したご意見・ご要望
4. 質疑応答

1-1. 噴出抑制作業経緯

- 8/18 地上配管類準備・注水作業
⇒ 蒸気噴出抑制効果を目視確認、注水継続
- 8/19 追加注水ライン取付、一部資機材搬出
- 8/20 地上配管・作業台解体、偏向装置取外し
- 8/21 ドリルパイプ回収
- 8/22-23 セメント注入用機器設置
- 8/24 砂利充填
- 8/25-27 セメント注入(計4回)。2回目のセメント注入後に逸水停止
- 8/28 地上に立ち上げたセメントの固化を確認し、**井戸の埋め戻し作業完了**
- 8/29 鉄板蓋取付

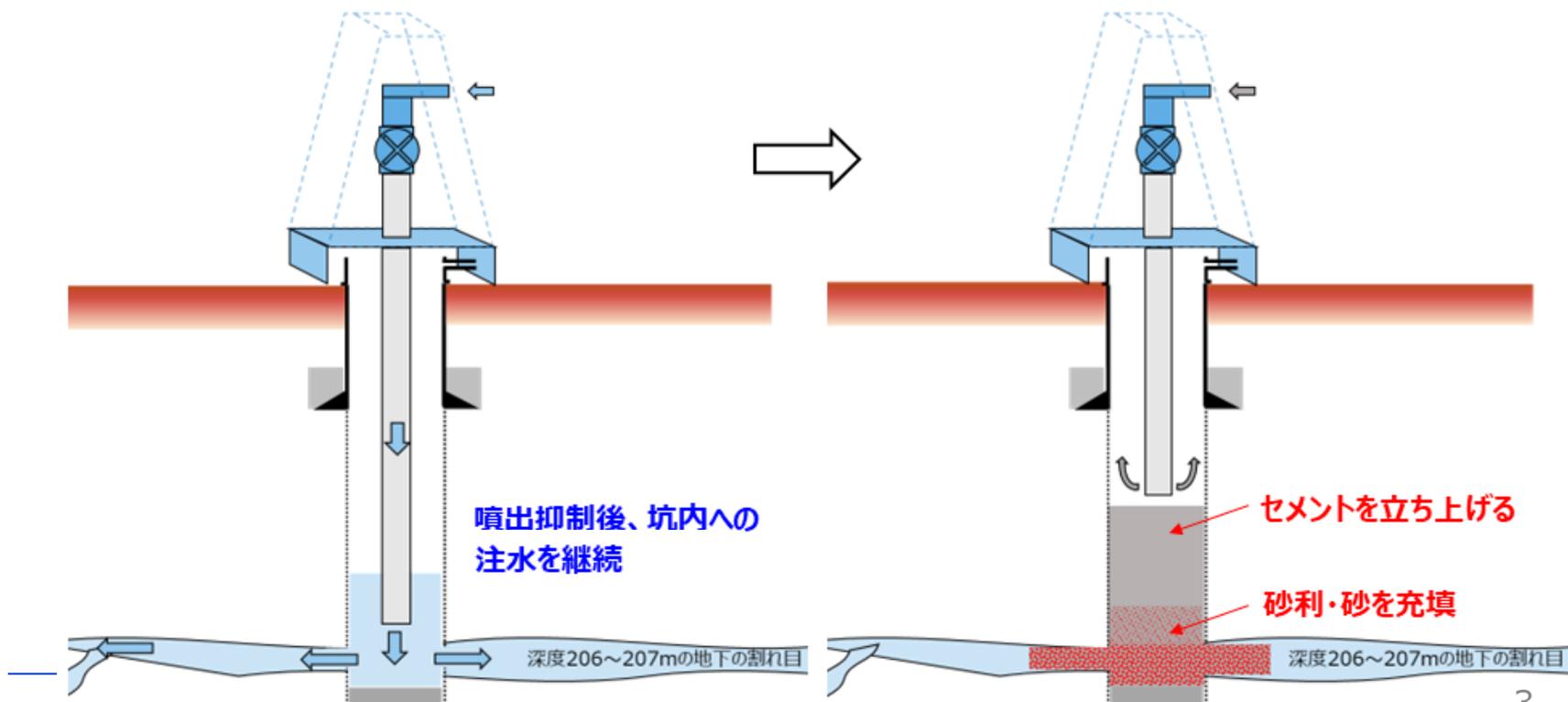
8/22: 第5回蒸気噴出対策連絡会議開催

1-2. 井戸の埋め戻し作業

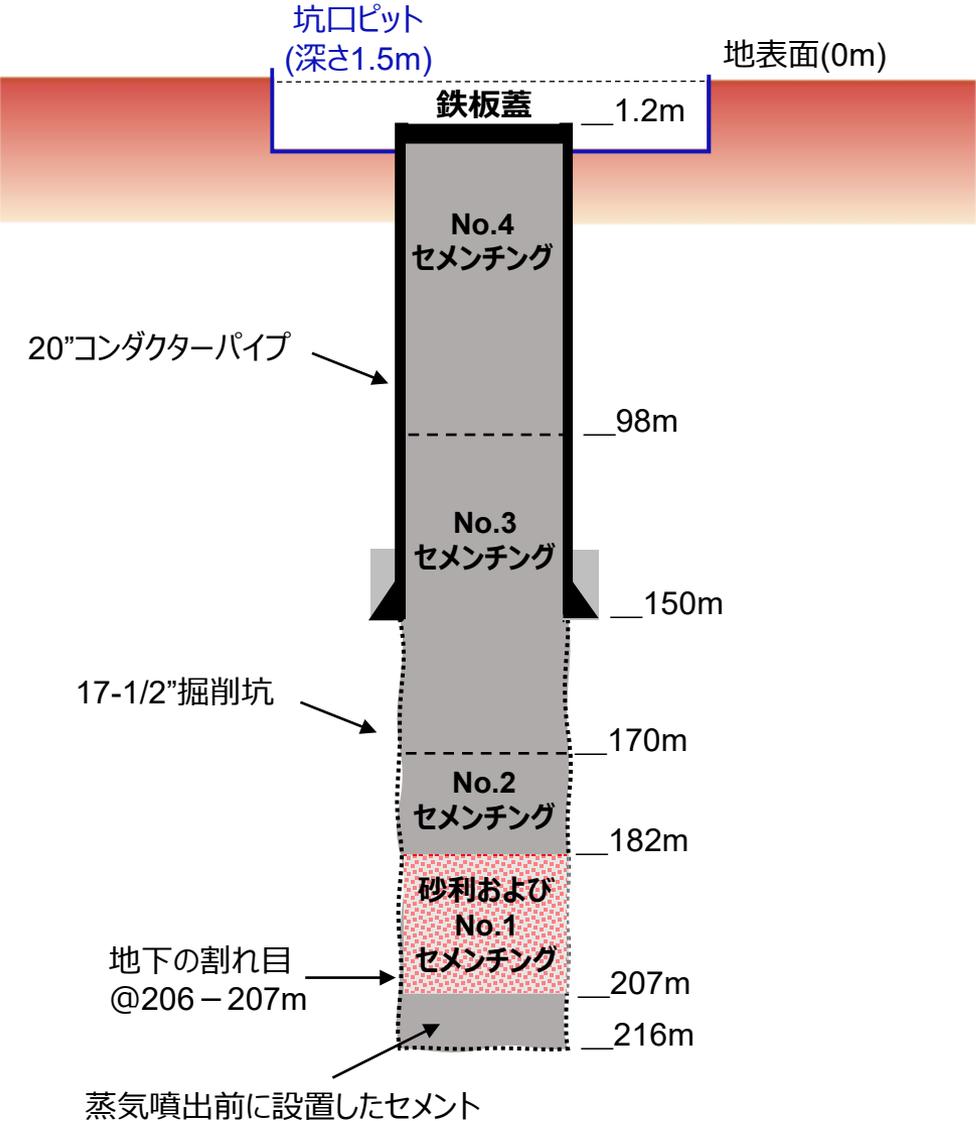
■ 8月末までに砂利・砂充填、セメント立ち上げ

井戸の埋め戻し方法：

- 坑内に注水しながら、十分な量の砂利・砂等を投下し、セメンチングのための土台を作る
- 坑底からセメントを立ち上げていく
- 複数回のセメンチングを実施して地表までセメントを立ち上げて井戸を埋め戻す



1-3. 井戸の埋め戻し作業 – 最終坑内図



井戸の埋め戻し作業概要 :

- 蒸気噴出抑制後、セメントの土台となる砂利を坑内に立ち上がるまで充填
- 砂利の上から地表まで複数回に分けてセメントを立ち上げ (坑内から流体が出てこないことを確認)
- 20"コンダクターパイプを地表面から深さ1.2mで切断し、鉄板蓋を溶接



1-4. 解体・搬出作業スケジュール（想定）

- 9/2～ 掘削リグの解体を開始
- 9/4～ 掘削リグの搬出を開始
- 10月末頃 掘削リグ撤去完了見込

※掘削リグの状態・天候等により、作業スケジュールは変更になる可能性あり。

※解体・搬出作業と並行して、敷地内の汚泥や噴出物の処理も実施する。

2. 専門家による環境影響評価会の組成

評価会メンバー

- 各分野の専門家7名、ご専門分野は以下の通りでいずれも北海道内の方々。
 - 工学分野
 - 医学分野
 - 毒性分野
 - 土壌分野
 - 農学分野
 - 森林分野
 - 化学物質のリスク評価

オブザーバー

- 関係省庁・自治体による陪席。

事務局

- 情報整理/資料作成/会場設営等の会運営に、弊社以外の外部機関を起用予定。

- 関係当局と実施している蒸気噴出対策連絡会議のご意向/ご助言を受けて、現在、早期開催に向け環境影響評価会を組織中。本評価会では、蒸気噴出による人の健康と環境への影響評価並びに、モニタリング計画策定への助言を行って頂く予定。中立的な評価会とすべく、会の運営を外部機関に外注予定。弊社にて費用を負担。
- 住民の皆様を始めとする関係者に評価結果（含む中間報告）の報告を速やかに実施していく方針。開示・ご説明方法については、今後評価会の中で議論を行って頂く予定。

3. 前回連絡会で頂戴したご意見・ご要望

- 蒸気噴出制圧後の水質モニタリング継続の重要性
- 評価会は客観的に第三者が検討を行う組織として有意義
- 評価会における結果の積極的な発信の重要性
- 評価会での地域の環境に今後及ぼす将来影響の評価、並びに道有林に対する調査実施
- 安全である目安や数値を示すことで安心へと繋がるアプローチを評価会がとることへの期待

4. 質疑応答

- 挙手をお願いします。
- 弊社の者がマイクをお持ちします。
- 質問をされる前に、
ご自身の所属とお名前をおっしゃってください。